



石井 正三氏

後藤新平は医師で行政官、さらには政治家、内務大臣や東京市長などを歴任した。

日本の健康政策が現在のよ
うな姿になるまでには、幾つ
ものポイントを経てきた。欧
米からは、明治維新を封建制
度から脱却する市民革命と位
置付けられることが多いよ
うだ。

国内的にはそのようでもあ
り、そのようでない要素もあ
る感じだが、海外と結んだ条
約の不平等性の改訂を要し、
欧米からの進出に対して独立

を保つ強い政府確立のため
に、東京遷都や富国強兵策を
進めるのは急務だった。

地域医療を担う医師を養成
し、子供の義務教育の中で
「食育・知育・体育・徳育」
という目標に、学校衛生や伝
染病予防など保健管理を行
う学校医として関わるよう、
一八七二（明治五）年に定め
られた。これらは富国強兵の
一環としての初期の新しい国
づくりの方針だろう。

五七（安政四）年、旧水沢
藩生まれの後藤は、現在の福
島県立医大の前身である須賀
川医学校で学び、八二（同
十五）年、内務省衛生局に入
省して衛生行政に携わった。

九〇（同二十三）年、ドイ
ツに留学し、先にローベル
ト・コッホ研究所に留学して
いた北里柴三郎の紹介でコッ
ホ教授と知遇を得た。百年前

医師、行政官、政治家

東京の都市計画などに尽力

日医会館の3階小講堂に飾られて
いる、扁額

は行政的な公衆衛生学の分野
の中で、光学顕微鏡によって
細菌を発見して伝染病と闘う
細菌学が最先端の分野だった
のだ。

抗生剤の発見などによって
細菌感染症への取り組みが一
段落すると、電子顕微鏡の発
達があつて、現代は一段と小
さなウイルス（ウイルス）
との闘いが現在進行形という
ことになる。

帰国した後藤は九二年に内
務省衛生局長、その後台湾総
督府民政長官に就任したとき
に現在の台湾大学医学部を創
設している。

今でも台湾医師会の方々と
お会いすると「私たちは兄弟

弟子ですよ」と親しくお話し
され、それがしつかりと台湾
大学医学部の中にモニュメン
トとして残っている。

北里は帰国後も細菌学者と
して活躍し、曲折を経て現在
も北里大学や北里研究所が
残されている。北里研究所・
大村智先生がイベルメクチン
の研究で二〇一五年、ノーベ
ル生理学・医学賞を受賞され
た。

北里は在野の立場を堅持
し、一九二三（大正十二）年
に制定された医師法に基づい
て成立した大日本医師会の初
代会長に就任した。

後藤は、政治家になった後
も公衆衛生思想に基づいた都
市づくりに大きな業績を残
し、関東大震災後に改めて内
務大臣兼帝都復興院総裁とし
て東京の復興を図り、首都と
しての都市計画づくりに尽力
した。

これらのマスタープランの
壮大さから、「大風呂敷」と
のあだ名を冠されたのは、彼
にとってある種の尊称であつ
たとも思われる。

この復興プランは予算の関

係などで規模を縮小して実行された。更に、第二次世界大戦の東京大空襲によって首都が灰塵に帰した時に、このマスタープランはもう一度効力を発揮し、幹線道路を備えて現在に至るメガロポリス東京の都市計画の基本となった。

医師会長として扁額を受け取った北里もまた三一(同六)年に亡くなっている。扁額は新生日本の発展を夢見てドイツ留学時代から知り合っていた二人の最晩年に残された精神的交流の証しとなっている。

駒込にある日医会館三階の小講堂に、「福星開壽域 昭和二年春日新平」と書かれた

先生にこの扁額について解説して頂いた。

大きな扁額が掲げられている。この扁額を揮毫した二七年(昭和二)年から二年後の二九年に後藤はこの世を去っている。

「福星」とは中国的伝統によれば裕福な官服の老人で表され木星としても象徴される神、「壽域」はよく治まった世の中の意味。ヘルスシステムとも解することができ、こ



医業に、政治に活躍した後藤新平。時代、そしてその先を見つづり続けた彼の業績をたたえる書籍類は数多く世に送り出されている

の五文字は「新生医師会長とその統率下の医師会によって、善き社会、そしてヘルシステムが開かれていくように」という願いが込められているとのことだ。

北里と近代化担う

明治というわが国の行政をはじめ、さまざまな社会的活動の近代化を担った時代に、

を拜命していた折に日本医師会英文誌(JMAJ)上に発表した自著英文論文、Masami ISHII: The calligraphy in the JMAHALL. JMAJ 2010;53:62 から要約して紹介した。

株式会社 佐藤部品商会

流通センター営業所: いわき市常磐西郷町銭田107
TEL0246-88-6775 / FAX0246-72-1387

総務部: いわき市常磐西郷町銭田107 TEL88-6775
小名浜営業所: いわき市小名浜西町5-4 TEL54-6262
平営業所: いわき市内郷御殿町4丁目59 TEL27-6200
四倉営業所: いわき市平泉崎字砂田56 TEL34-5413
須賀川営業所: 須賀川市森宿字辰根沢158-3 TEL(0248)94-4601
ときわ出張所: いわき市常磐水野谷町諏訪ヶ崎89 TEL43-2275
本宮出張所: 本宮市荒井字青田原1-522 TEL(0243)34-6770
リビルト/タイヤ事業部: いわき市常磐西郷町銭田107 TEL88-6771

この論旨は、筆者が編集長

筆者プロフィール

石井 正三
(いっし・まさみ)

地域医療連携推進法人医療戦略研究所所長・代表理事、長崎大学客員教授、ハーバード公衆衛生大学院名誉武見フェロー、東日本国際大学健康社会戦略研究所所長・客員教授、医療法人社団正風会理事長

